
会いたい

るな

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
会いたい

【Nコード】
N7697J

【作者名】
るな

【あらすじ】
家に帰ってからのお話です

貴方に

『ヒロが好き』

やっと言えた！

でも、答えは決まっていた。と言うよりわかっていた。
ヒロがわたしじゃなくて今もあの人を見ていることを…

『ごめん好きな人いるから…』

諦めないといけないのはわかってるでも、
『それでもいいから』

あきらめなかった。というより諦めたくなかった好きだから
『ごめんな』

わかってたよ困らせてごめんねっていつて安心させたかった

『だよね私なんかごめんね私こそ（＾Ｏ＾）』

見栄っ張りな私には言えなかった。

『るな』

少し期待した名前を呼んでくれたから

『何？』

『お前は強いな』

『でしょ！（＊＾―＾＊）』 『また明日ねバイバイ』 『おうじゃあ

な』 今すぐ泣きたかった大声で泣き叫びたかった。

『ヒロ！』

一つ聞きたいことがあった

『何？』

『好きでいてもいい？』

『やめとけお前が辛くなるだけだから』

『それでもいいから』

『悩みなら聞くから』

ヒロの中途半端な優しさが心に染みる。

『じゃあな』

ヒロが見えなくなったら私は何かがくずるれかのように泣いた泣き
叫んだ

すると

『るな？』

私は顔をあげた

『孝志？』

『何してんの？』 『』

二人は同じにいった。

『俺は忘れ物を取りに来ただけかなは？』

『何もないよ』

本当は色々あったけど孝志には言えなかった

『嘘つき目腫れてんぞ』

『何で泣いてんの？』

孝志には嘘をつけない気がした

『好きな人に振られたの　好きな人がいるから　って』

『バカでしょ？笑っていいよ』

『るな、我慢するなないて良いから。』

私は孝志の胸のなかで気がすむまで泣いた。

『もう大丈夫ありがとう（＾o＾）／』

『目、冷やせよ』

『うん』

『また明日な』

『うん』

私は家に帰って悩んでいた。
迷っていた

ヒロがすきだけど絶えられない気がした

あの中途半端な優しさがこれからの私が辛い思いをするかもしれない
でも、

孝志をすきになったとしても自分の中で何かがつまるような気がした。

わからなかったどうしたらいいのか
でも次の日はまた来る

あさがきた結局あんまり寝れなかった

学校に行く

孝志とあった

『おはよう』

『昨日は大丈夫だった?』

『当たり前出し()b』

私達の会話を聞いている人がいた
きずかなかったヒロが聞いてたのを

『るなもう好きな人出来たの切り替え早いな』

『えっ?何の事?』

『隠さなくても良いじゃん』

『待ってちがうの』

『何がちがう?のあんなになかがよかったのに』

『ヒロのばか!』

『鈍感!』

『何でわからないのこんなにヒロがつ...』

『俺が何だよ』

『ヒ ヒロが』

『す 好きなのに』

『もう知らないから』

恥ずかしくてそこから逃げ出した

『るな待てよ』

『離して』

『待てって』

はやくその場から何処かにいきたい誰も居ない何処かに

『放して』

『嫌だ』

『何で』

『嫌だから』

『意味が解らないから』

『お前が悪い』

『何で?』

『悩みすぎだから』

『悩んでないよ』

『嘘つき顔に出てるから』

私は嘘つけないな

『ヒロのことで悩んでるの!』

『俺!?!』

『ヒロの中途半端な優しさがわたしを悩ませるの!』

『ごめんそんなつもりじゃ』

『分かった? もういいでしょ 離して!』

『お おう、めん』

『バイバイ』

わたしはまた泣いていた
そしたらやつぱり来てくれた

『るなそんなに辛い恋するなよ』

『みてらんねえ』

『そんなに辛い恋をするなら俺にしとけよ』

『えっ?』

『どういう意味?』

『だから俺にはお前が必要なんだよ』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7697j/>

会いたい

2011年1月9日06時14分発行